

参加申し込み11/20現在86名です 目標は150名！！

SOP 23名 ALT 23名 TEN 16名 BASS 24名

SOP	ALT	TEN	BASS		女声	男声	合計		女声	男声	合計	
2 田嶋 美智子	4 鎌田 郁子	3 西野 明彦	1 佐藤 隆衛	1期		1	1	25期	2	1	3	
7 武信 和恵	4 常富 晴子	9 寺山 文夫	3 田中 克夫	2期	1		1	26期			0	
8 林 ひさ子	5 小原 洋子	10 加藤 義夫	6 大小田 宏彌	3期		2	2	27期		3	3	
9 福田 律子	7 渡辺 佳子	12 高梨 巧司	10 橋本 直紀	4期	2		2	28期	4		4	
10 酒井 ミサ子	10 塩入 庸子	12 花輪 憲一	10 天野 明道	5期	1		1	29期	2	1	3	
13 関 由紀子	10 舟橋 葉子	16 吉江 章	10 岸 一隆	6期		1	1	30期			0	
13 高梨 雅恵	11 鎌田 雅子	20 藤村 徹	11 福田 隆	7期	2		2	31期			0	
13 半澤 幸子	16 坂田 幹子	22 吉田 亘	12 平野 俊幸	8期	1		1	32期			0	
14 橋本 恭子	21 岩崎 初音	23 奥野 浩樹	16 早川 功	9期	1	1	2	33期	1	2	3	
14 山田 千恵子	21 川手 由喜子	23 久保 孝明	16 占部 隆之	10期	3	4	7	34期			0	
16 西村 節子	21 榎淵 由美子	27 高木 敏和	16 黒井 達也	11期	1	1	2	35期			0	
17 高坂 一重	22 吉光 育子	33 田中 秀明	21 吉田 和典	12期		3	3	36期		1	1	
21 伊藤 智子	25 伊藤 晶子	43 中島 圭博	22 渡辺 直三	13期	3		3	37期			0	
22 岸本 妙子	25 米村 久美子	44 関 成利	23 石井 雅巳	14期	2		2	38期			0	
22 江端身知子	28 吉川 千恵子	47 沓川 剛	25 伊藤 泰志	15期			0	39期			0	
22 木村 朋子	28 大矢 花絵	47 玉木 隆寛	27 中村 信行	16期	2	4	6	40期			0	
22 高橋 京子	29 片桐 亮子		27 高森 洋樹	17期	1		1	41期	1		1	
28 上重 理沙子	33 田中 里香		29 武井 和徳	18期			0	42期			0	
28 新楽 浩子	41 清水 里美		33 伊澤 信昭	19期		1	1	43期	1	2	3	
29 工藤 由利	43 羽田 沙矢加		36 佐藤和英	20期			0	44期	4	1	5	
44 大河 愛	44 井上 梓		43 四方 祐平	21期	4	1	5	45期			0	
44 伊藤 可奈子	47 石澤 薫		47 藤井 貴広	22期	5	2	7	46期			0	
44 中村 智子	47 金沢 素子		47 三山 浩輝	23期		3	3	47期	4	4	8	
47 宇野 聖和	48 石川 雅子		48 内藤 拓也	24期			0	48期	1	1	2	
47 吉村 真美												
					29	24	53		0	20	16	36
									49	40	89	

● 先日の初回練習で和歌山より参加してくれた玉木君にメッセージをもらいました。

皆さんこんにちは。47期学生指揮者の玉木隆寛です。今回、フェスティバル合唱団で福永先生編曲の“West Side Story”より“Tonight”を振らせていただくことになりました。“West Side Story”は第一回定期演奏会で演奏されて以来、何度もアカデミーで取り上げられ、私も現役時代、第四十六回定期演奏会で振った作品です。今年2010年、没後20年を迎えるレナード・バーンスタインは作曲家としても、交響曲、バレエ、ブロードウェイのミュージカルなど、さまざまな分野で名作を残しています。その傑出した才能を世界に知らしめたのが、この“West Side Story”でした。1957年に初演されたこの作品はのちに映画化もされ、全世界で大ヒットを記録しました。そして50年経った現在でも、劇団四季においては主要なレパートリーであり、ブロードウェイキャストではワールドツアーがなされ、さらにはキャストを一新して録音が行われるなど、世界中で愛されています。ただ皮肉なことに、バーンスタイン自身はここに行っても“West Side Story”が演奏され、“West Side Story”を作ったレナード・バーンスタインと呼ばれることにうざりし、“バーンスタインが作った“West Side Story”だ！”と言っていたようです。彼の中では、自分は交響曲・バレエ曲も書き、指揮もする、ピアノも弾く、“West Side Story”はその中の一つでしかない、と考えていたようです。しかし、“West Side Story”が彼の中での最高傑作であることを否定する人はだれ一人としていないでしょう。それは、彼が指揮者であったことが何よりも大きい要素となっています。彼は指揮者としてさまざまな楽曲を研究し、ガーシュイン（“ラプソディー・イン・ブルー”の作曲者）が確立した30年代のビックバンド的な音を受け継ぎながら、ジャズ、ラテン、クラシック、オペラなど様々な音楽の手法をこの“West Side Story”に取り込んだのです。そしてこの傑作が福永陽一郎先生と出会い編曲され、我々にとって特別なレパートリーとなりました。私は直接的には福永先生を知りません。しかしながら、この作品を歌うことによって、福永先生を知らない世代も福永先生と繋がり、また、年齢も経験も違う方々と感動を共有することが出来るのでは

● 合同ステージ 指揮者の横顔 第4ステージ『My gentle harp』渡辺直三 22期 社会学部卒

この紙面にて今回指揮をされる指揮者の皆様を紹介させていただきます。まずは初回なので同期の渡辺直三です。本人のリクエストは21回定期演奏会で陽ちゃん指揮の混声版初演『月下の一群』の希望でしたが、多くの同期や後輩からリクエストがあり『IRISH TUNE』より『My gentle harp』が選ばれました。学生時代は「マエストロ直三」と呼ばれ、信州の高原にて生まれた人間性と体育会系指揮は日本放送協会の全国放送に「指揮者 渡辺直三」とまで個人名で紹介されるまでとなりました。（注：1）数少ない欠点は最近では色あせたとされるが、夜の歌では指揮がわからなくなる位の黒さ加減。3年夏にはヨーロッパ演奏旅行を体験、コンクール卒業の英断もあり充実した定期演奏会を実現させました。卒業後はアパレルメーカーに勤務、名古屋支店に転勤し結婚、現在は愛妻と子供を名古屋に残し単身赴任中。今回はアイリッシュハーブで演奏出来ればと考えています。ちなみに21回定期演奏会と演奏旅行にまで来てくれた当時芸大の学生だった山崎氏は現在の日本ハーブ協会の副会長とか・・・アイリッシュハーブの音色と直三ワールドをみんなにご堪能頂ければと思います。お楽しみに！（注：1）NHKで放送していた黒柳徹子の「音楽の広場」にアカデミーで出演。

アカデミーの輪 フェスティバルQ&A

練習時間内では、伝達事項や皆様の疑問、質問に十分にお答することが出来ず申し訳ありません。そこで、いろいろな懸案事項やお問い合わせに紙面にてお伝えしたいと思います。また、練習を休まれてもしっかりとお伝え出来るようにしたいと思います。

● 法政大学での練習はないのでしょうか？練習会場が遠くありませんか？

最近の学校施設の会場使用許可は1週間前に決まっております。現役のアカデミーも会場確保に苦労している状況です。学生同士では直前の練習決定もメール等にての伝達機能がありますが、我々OB・OGでは難しいと思います。また、仮にOB・OGとして大学施設を借りましても、一般貸し出しと同様でかなりの費用が発生してしまい、このような状況より外部施設での練習会場と判断しました。4月までは150名程度、5月より合同練習のため300名以上の収容会場の確保が必要です。

今回、多くの練習会場は江戸川区、江東区が中心となっております。これらの会場は申し込み受付が早く会場の確保が早く来ます。渋谷区、新宿区、中央区、港区等多くの施設は1ヶ月前の抽選や区内優先等の条件がありリスクがあるためまずは会場の予約が出来、確保を優先して決定しております。何とぞご理解の程よろしく願いいたします。

● チケット負担はどうなりますか？

予算の組み立てでは1枚1,500円 会場収容2008名、発行枚数2500枚～2800枚を予定しております。OB単独＋合同もしくは合同ステージにオンステのメンバーをお願いを致しますが、現役との最終確認が必要ですがなんとかOB・OGで約半数の負担と考えております。オンステージのメンバー数でかなり前後しますが一人10枚～12枚位になると思われます。一人でも

● 参加費について

1月の練習より集金の予定となっております。ご案内の通り、首都圏参加者（東京・神奈川・千葉・埼玉・都内在勤者）¥20000、地方参加者 ¥10000 になります。その他に第4ステージのみ（GP、ステリハ参加）の特別参加¥10000（プラス首都圏地区チケット数枚）も用意しました。一人でも多くの皆様に参加していただきたく状況に応じ個別対応も検討しますので事務局メ

● 是非同期、お仲間を是非お誘いください。そしてお仲間のお住まいを教えてください。

混声6連の仲間である慶応大学楽友会の50周年ではプログラムでは女声144名、男性86名のOB・OGのお名前がありました。我々、事務局も150名の参加者が目標です。一人でも多くの卒業生に参加して頂きたく思っております。現在、いろいろな方法で開催のお知らせをしておりますが、2008年OB名簿に住所記載のない方々には連絡の手段がありません。お知り合いの方がいらっしゃいましたらお知らせください。事務局よりご案内、もしくは書面一式（送料OB会負担）を用意致しますのでご連絡

● OB会事務局では50周年記念フェスティバルのお手伝いをして頂ける方を募っております。

仕事の多くは現役との共同作業となりますが、我々OB・OGにもいろいろと役割があります。5月まではOBOG単独練習ですので、まずはパート内の連絡係りとお世話係りのパートマネージャーや交流イベントの担当者、そして周年行事の各担当者、レセプションの各担当者、パンフレットなどなど。慶応楽友会の50周年ではパンフレットで確認すると仕事を30以上に分担し、各世代で活動していたようです。50周年という記念すべき機会は最初で最後であり、まだまだ手探りで事務局も活動しております。皆様の暖かいご協力、ご支援があって無事開催が望めると思っております。今後ともよろしく願います。練習後、会場にて打ち合わせ等してまいりますのでお気軽に覗いてみてください。

合わせて、この情報誌の編集をお手伝い頂ける方も合わせて募集しております。よろしく願い致します。仕事のやりとりは主にメールでのやり取りとなります。（担当、22期吉田）

● 次回練習会場について 12月 18日 13:00～17:00

雑司が谷地域文化創造館 03-3590-1253
東京都豊島区雑司が谷3-1-7 千登世橋教育文化センター内
東京メトロ副都心線「雑司が谷駅」2番出口上
JR山手線目白駅下車 徒歩約10分
都電荒川線「鬼子母神前」駅下車 徒歩約2分
都バス「千登世橋」バス停下車 徒歩約1分
池袋東口～新宿3丁目～渋谷

● 記念演奏会キックオフ&忘年会のお知らせ
次回練習日12月18日の練習後
18:00～ 池袋にて行います。

会場未定、当日のご案内、会費4000円～
本日のパート別出欠表の別欄にて出欠席を確認しておりますので必ずチェックしてください。
間に合わなかった人、変更の連絡先は 22期 吉田 までお願いします。

連絡先
FAX 048-857-5546
自宅 pilot.fc.24.wataru@icom.home.ne.jp
会社 w-yoshida@pilot.co.jp
携帯 maidoookini.pilotkansai.wataru@docomo.ne.jp

練習に出れなくて会場直行の方はお申し出ください。会場決まり次第ご連絡します。

